

議 事 要 旨

【日 時】 令和4年2月1日(火) 18:30 ~ 19:50

【場 所】 TV 会議(佐世保市中央保健福祉センター5階 健康危機管理オペレーション室)

【出席者】 委員7名全員出席

(事務局等) 野村保健福祉部長、兼医療政策課長、井原医療政策課主幹、久地浦主査
(佐世保市総合医療センター) 神崎副理事長、小村事副院長、南川事務部次長、他職員

◆評価委員会各委員のおもな質疑・意見

■議題1 佐世保市総合医療センター第3期中期計画の策定に係る意見について

○収支計画書の入院収入について、予算では非常に難しかったと思うが、この3年間の見込みについては何か根拠があるのか。(宮地委員)

- 患者数については、病床稼働率がどれくらいになるかによって計算されており、単価については直近の年度の実績等をみて計算されている。(医療政策課 主幹)
- 今、事務局からあった説明の通りである。(医療センター 小村副院長兼事務部長)

○入院診療収益が、年々上がる計画となっている。コロナの影響があまり見えない感じがする。当然ながら将来の状況がどうなるかはわからないと思うが、先ほどの説明ではコロナの影響で患者数が減るとの話もあったので、これでもいいのかと思い質問している。令和2年度(コロナ禍)から令和4年度は増加しているようであるが…。(宮地委員)

- 令和2年度からは患者数も伸びているが、入院収益については、一定の加算の取得も加わっている。第3期の患者数をどのように伸ばしていくかが一番頭の痛いところであった。令和4年度については、なかなかコロナの収束は至らないだろう。逆に補助金の受け入れはある。5年度6年度については新規入院患者数を確保しながら述べ患者数を増やしていく、という自ら努力目標を高く掲げたということで、収益増の計画を立てている。(医療センター 小村副院長兼事務部長)

○前回、コロナによって補助金が増えたと聞いたが、このコロナと補助金の関係はどうか。コロナの補助金はある程度見通しがつくものなのか。(安部委員)

- コロナの発生が令和2年度ということで、当初から病床への空床補助金に来ていたが、今年から空床の補てんについては、(医療機関＝申請者側からの)一方的な申告だけで国が認めるのではなく、限度額が設定された。昨年よりも厳しくなっている。令和4年度は、一定、現行で行くとは思われるが、今より以上の手厚い助成は見込めないと見ている。よって補助金は年々きびしくなるものと思われるため、当該補助金の支給は4年度までと見込んで計画に盛り込んでいる。(医療センター 小村副院長兼事務部長)

○先ほどの宮地委員の質問と重複するかもしれないが、入院、外来共に診療単価が上がるように見込まれている。その根拠はあるのか。(横山委員)

- 診療単価の増に関しては、令和4年度に診療報酬改定もあるが、新たな加算の取得として「夜間看護補助体制加算」の取得に取り組んでおり、こうした加算の取得を3事業ほど見込み、これが3年間

に約4億円を超えるような収益増と見込んでいる。また、在院日数の短縮ということで、こちらも自らの努力はいるが、確実な収益の増につながるのはやはり加算取得であり、これについては取れるのではないかと考えている。患者数の伸びについては完全に読めないところはあるが、単価の伸びについては根拠があって収益増としているものである。(医療センター 小村副院長兼事務部長)

→ はい。わかりました。(横山委員)

○そのほかに何かご意見等はないか。(木村委員長)

【特に返事なし】(発言がなかった委員2人にも委員長が直接意見がないか尋ねたが「特になし」であった)

○今、それぞれの委員さんからいくつかご質問としては出されたが、医療センターの第3期中期計画に対する意見としては特になしということでもまとめてよろしいか。(木村委員長)

→ はい。異議なし。(一同)

○では、医療センターの第3期中期計画に係る意見については「特になし」ということで報告させていただく。(木村委員長)

■議題2 佐世保市総合医療センター役員報酬等規程の一部改正に係る意見について

○何か意見、質問はないか。(木村委員長)

→ 意見、質問なし(一同)

○特にないようなので、こちらについても特に意見なしとさせていただき、市へ提出して構わないか。(木村委員長)

→ 異議なし。(一同)

○以上で第1、第2の議題の審議を終了する。(木村委員長)